

ヒロセ通商株式会社
第18期定時株主総会 質疑応答要約

Q1.

(御意見) 連結計算書類をせめて2期、可能であれば5期ぐらい並べていただきたい。

A1.

参考にさせていただきます。

Q2.

(御質問) 営業収益は連結で3億2千万程増加している。それに対して、経常利益や親会社株主に帰属する当期純利益は1億、2億程減少している。広告宣伝費やシステム利用料の増加が原因とのことだが、実際にどれくらい増えたのか。

A2.

広告宣伝費は約3億円、システム会社に支払うシステム使用料は約1億円、増加しております。

Q3.

(御質問) 株式を3,000円台で購入してから二、三週間で2,000円を割ったと記憶しているが、その時の要因は何か。また、株価はどれくらいが適正だと社長は思われているのか。

A3.

株価につきまして様々な要因がございますので、一概にこれといった要因は私の方では分かりかねます。二つ目の御質問(適正な株価)への回答と同じようなことにはなりますが、当社といたしましては営業成績を上げて株価にどれだけフォローできるか、あとは資本政策等をしっかりと行っていき、株主様から御支持いただけるような施策をやっていくことが大事だと考えております。

Q4.

(御質問) 食品等のプレゼントキャンペーンについて、当初は珍しかったが今はマンネリ化している。広告宣伝費を使って新規顧客を集める焼畑農業のようなことになっている。今のキャンペーンを超える魅力あるキャンペーンを何か考えているのか。

A4.

当社のキャンペーンはユニークな魅力としてお客様に御支持いただけていると考えております。費用対効果等を考えながら少しずつ変化し、当社の強みとして実施しておりますので、今後も力を入れていきたいと考えております。また、おっしゃるように、既存のキャンペーンを超える魅力的なキャンペーンを今後も実施していく必要があると思っておりますので、一気に新しくするのではなく、今行っているキャンペーンをいかに改善していけるかが重要だと思っております。

Q5.

(御質問) 今現在の株式の売買高の水準は上場廃止になる可能性があるのか。

A5.

上場廃止にはならないものだと理解しております。